

# News Release

2022年1月18日

各 位

## スイス ADC セラピューティクス社と 抗 CD19 抗体薬物複合体「Loncastuximab tesirine」に関するライセンスを締結

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：上野 裕明、以下、田辺三菱製薬）と ADC Therapeutics SA.（本社：スイス Epalinges、最高経営責任者：Chris Martin、以下、ADCT 社）は、ADCT 社が開発・販売中の抗 CD19 抗体薬物複合体「Loncastuximab tesirine、以下、本化合物」について、すべてのがん腫を対象に、日本で独占的に開発および商業化するライセンス契約を 1 月 18 日に締結しました。

当社では、抗体薬物複合体を用いたがん治療薬について、米国における研究子会社である Tanabe Research Laboratories U.S.A., Inc.（本社：米国サンディエゴ）が研究・開発をおこなっています。これに加えて、抗体薬物複合体を用いたがん領域において画期的な新薬の研究・開発で実績のある ADCT 社と本化合物について提携できたことは、当社の新たなチャレンジとなります。

また、当社は、2030 年のめざす姿として策定した「VISION 30」実現にむけた成長戦略骨子の一つである「プレジジョンメディシン」への取り組みとして、有効性と安全性が高い患者層をあらかじめ特定し、最適な患者層へ治療満足度の高い薬剤をお届けすることをめざしています。日本における本化合物の開発は、分子標的アプローチを含むプレジジョンメディシン実現への一歩でもあると考えています。

本ライセンス契約の締結に伴い、当社は、ADCT 社に契約一時金として 30 百万ドルを支払うとともに、開発の進捗に応じたマイルストーンおよび売上高に応じたマイルストーンとして、追加で最大 205 百万ドルを支払います。また、当社は日本における本化合物の売上高に応じたロイヤリティを ADCT 社に支払います。さらに、当社は日本における開発費用を負担することで、今後、実施される本化合物に関するすべてのグローバル臨床試験に参画する権利を有します。なお、ADCT 社は引き続き、日本以外の地域において開発・商業化する権利を留保します。

田辺三菱製薬は、アンメットメディカルニーズに応える研究開発に取り組んでおり、本化合物導入の成果を一日でも早く結実し、日本の患者さんに新たな選択肢をお届けできるよう努めてまいります。

本リリースに関する報道関係者からのお問い合わせ

田辺三菱製薬株式会社 コミュニケーションクロスローズ部 TEL:06-6205-5119

田辺三菱製薬株式会社は三菱ケミカルホールディングスグループの一員です。

**KAITEKI Value for Tomorrow**

三菱ケミカルホールディングスグループ

## ■ Loncastuximab tesirine について

Loncastuximab tesirine は、ファーストインクラスとなる抗 CD19 抗体薬物複合体です。CD19 タンパク質は、一部の種類の非ホジキンリンパ腫（NHL: non-hodgkin lymphoma）に影響を与える免疫細胞である B 細胞の大部分に特異的に発現しており、新たな治療法開発の有望なターゲットとなっています。Loncastuximab tesirine は、がん細胞の細胞膜上に発現する CD19 に結合し、抗がん剤の送達によりこれらの B 細胞を殺傷し、正常細胞への影響を抑えられていると考えられています。Loncastuximab tesirine は、ADCT 社により、現在数種類の NHL の治療薬として開発されていますが、米国では 2021 年 4 月に迅速承認されており、ZYNLONTA<sup>®</sup>の製品名で販売されています。

## ■ ADC Therapeutics 社（ADCT 社）について

ADCT 社は、次世代となる抗体薬物複合体（ADC）を用いて、がんに苦しむ人々の生活を改善する製品を販売するバイオテクノロジー企業であり、血液がんおよび固形癌の患者さんの治療においてパラダイムシフトを起こすべく、独自のピロロベンゾジアゼピン（PBD）を搭載した ADC 技術を推進しています。CD19 を標的とした ZYNLONTA<sup>®</sup>(loncastuximab tesirine-lpyl) は、2 つ以上の全身療法を実施するも再発または難治性となるびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の治療薬として FDA から承認されており、他の薬剤との併用療法でも開発中です。また、Cami (camidanlumab tesirine) は、再発・難治性のホジキンリンパ腫を対象とした後期臨床試験および種々の進行固形癌を対象とした第 1b 相臨床試験を実施中です。ADCT 社では、ZYNLONTA<sup>®</sup>と Cami に加えて複数の ADC を臨床および前臨床で開発中ですが、ZYNLONTA<sup>®</sup> はファーストインクラスとなる抗 CD19 抗体薬物複合体です。スイスのローザンヌに本社を置き、英国ロンドン、米国サンフランシスコ・ベイエリアおよびニュージャージー州にも事業所を有しています。詳細は以下のホームページをご参照ください。

<https://adcttherapeutics.com>

ZYNLONTA<sup>®</sup>は同社の登録商標です。